

## 平成26年度 カリキュラム委員会（第2回）議事要旨

日 時 : 平成26年7月18日（金） 15:00～16:10

場 所 : 全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室

出席者 : 委員長 箕島（実施調整部長）

委員 下田（機構長）、堤（文）、中野（文）、竹中（カレッジ）、野村（人）、  
竹村（景）（言（外））、坂口（法）、青木（法）、山本（経）、大鹿（理・  
宮地代理）、杉山（理）、宮崎（理）、藤本（理）、岡村（理）、廣野（理）、  
島田（医・和佐代理）、橋詰（医・佐藤代理）、中村（歯）、我田（言）、  
松繁（国公）、大谷（国セ）、宮久保（博）、清川（サ）、阿部（サ）、  
窪田（全教）、森（全教）、坂東（全教）、宇野（全教）、山口（全教）  
オブザーバー 梅下（医保）、小笠原（医）

欠席者 : 竹村（治）（企画開発部長）、青野（人）、松村（経）、中川（晋）（薬）、南方  
（工）、下平（基）、北村（言）、三宅（言）、松本（言）、中川（博）（情（基））、  
西田（保セ）、岩居（全教）

陪席者 : 田口事務長、都々木教務係長、藤田教務係主任、小坂教務係員

議 題 :

議事に先立ち委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

報告事項

1. 平成27年度先端教養科目「健康・医療イノベーション学Ⅰ・Ⅱ」の新規開講、  
医学部医学科入学者の卒業要件単位の変更及び専門基礎教育科目「基礎有機化学」  
の必修・選択区分の変更について（資料2）

委員長から、資料2に基づき、医学部長から機構長宛に依頼があった旨報告があり、引き続き、新規開講の先端教養科目の内容について詳細な説明があった。また、委員長から、医学部医学科入学者の卒業要件単位の変更及び専門基礎教育科目「基礎有機化学」の必修から選択必修への区分変更について説明があった。

なお、現行の医学部医学科のカリキュラムにおいては、選択必修科目「分子化学B」と「化学熱力学」の間で著しい受講者数の偏りが生じており、カリキュラムの変更の際して同科目についても科目の必要性や見直し等を併せて検討いただきたい旨発言があった。これを受けて委員長から、カリキュラムの変更については医学部医学科で引き続き検討いただき、本資料の内容に変更が生じる場合は、早急にご連絡いただきたい旨発言があった。

## 協議事項

### 1. 平成27年度開講授業科目等について（資料3）

委員長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、委員長から、開講セメスター、曜日・時限、配当学部、担当部局に変更等がある場合は、次回カリキュラム委員会（9月19日）の約1週間前までに教務係へ連絡いただきたい旨、ならびに次回カリキュラム委員会で承認後、各部局へ担当教員選出の依頼を行う旨説明があった。

### 2. 基礎セミナー及び先端教養科目の開設に伴う各部局への依頼について（資料4）

委員長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果承認された。

なお、来年度も引き続き、魅力ある科目を数多く開設いただくよう協力をお願いしたい旨発言があった。

### 3. 大阪大学全学共通教育規程の一部改正について（資料5）

委員長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 4. 平成26年度授業担当非常勤講師の資格審査について（資料6）【回収資料】

委員長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 5. 平成26年度授業担当教員等の変更等について（資料7）

委員長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果承認された。

### 6. 平成27年度G30（化学・生物学複合メジャーコース）開講科目の一般学生への開放について（資料8）

委員長から、資料8に基づき、「G30科目の一般学生への開放検討WG」において科目内容を確認した結果、インターナショナルカレッジからの依頼のとおり、専門基礎教育科目（理系）の選択科目として取り扱うものとし、一般学生へ開放することを認めることとした旨説明があり、種々協議の結果承認された。

なお、委員長から、本件に係る一般学生への開放科目については、文系学部を含む各学部長宛に卒業要件単位としての配当について照会を行い、11月の本委員会で結果を報告する旨説明があった。

## ● その他配付資料

カリキュラム委員会（第1回）議事要旨（資料1）